

火災から身を守る

火災は人間の不注意から起こることの多い災害です。
 ふだんから気をつけて火気の取り扱いに注意すれば火災は防ぐことができます。
 火災が発生しても、どう行動すべきか知っていれば、被害を最小限におさえることもできます。

火災発生

その時どうする

① 早く知らせる

大きな声で「火事だー」と叫び、隣近所に知らせる。
 声が出ないときは、非常ベルややかんなど叩いて音で知らせる。
 小さい火事でも119番通報する。



② 早く消す

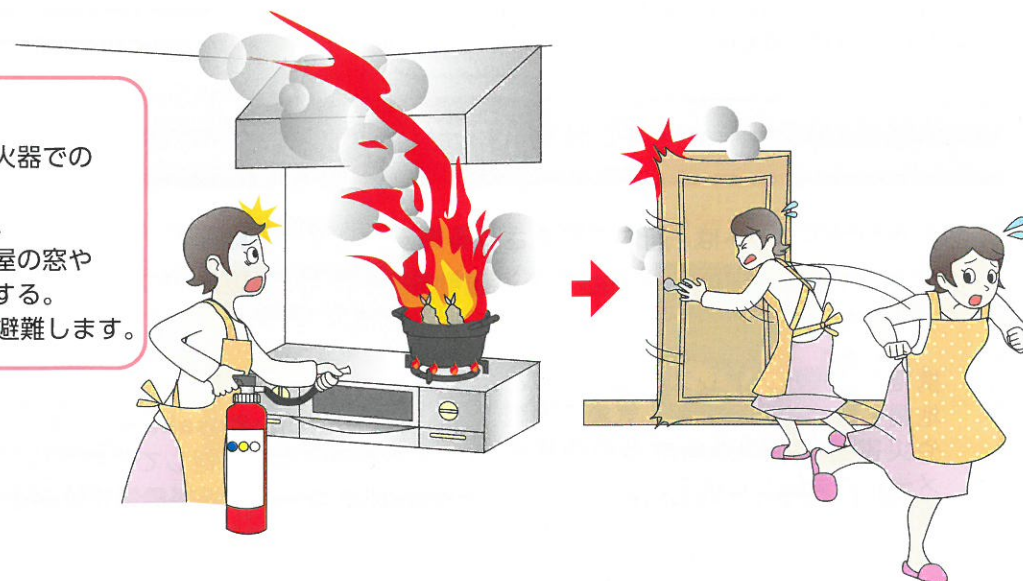
出火直後は消火が可能です。
 落ち着いて、素早く行動する。
 初期消火のために、消火器を用意しておきましょう。

※電気製品や油なべは、水をかけると感電する恐れや火勢が増し危険です。



③ 早く逃げる

天井に火が回ったら、消火器での消火は困難です。
 無理せず早めに避難する。
 可能なら、燃えている部屋の窓やドアを閉めて空気を遮断する。
 煙を吸い込まないように避難します。



119番通報のかけ方

通報すると、119番受付員が必要なことを順にたずねますので、落ち着いて聞かれたことにはっきり正確に答えましょう。

119番受付員

火事ですか、救急ですか。

火事です

場所はどこですか。

〇〇町〇〇番地の住宅です。図書館の側です。

何が燃えていますか。

台所から出火して燃えています。

あなたの名前と今かけている電話番号を教えてください。

私の名前は、〇〇です。
 電話番号は、〇〇-〇〇〇〇〇〇です。

通報者



※けが人や逃げ遅れた人の有無も伝えて下さい。

消火器の使い方

消火器は定期的に点検しましょう。
 耐用年数が過ぎたものや腐食の激しい消火器は、使用中に破裂することもあり危険です。

① 安全ピンを上に強く引き抜く



② ホースのノズルを持ち、火元に向ける



③ レバーを強く握って噴射する



火の根元をほうきで掃くように、左右に振りながら消火します。
 必ず消火を確認しましょう。

安全に避難する

避難は、高齢者、子供、病人、障害のある人を最優先に。
 逃げ遅れた人がいたら消防隊員に知らせましょう。

服装や持ち物を気にせず、早く逃げる
 いったん避難したら、絶対にもどらない。

煙を吸い込まない
 ハンカチなどで口とおおいできるだけ低い姿勢で避難する。

マンションのベランダは避難経路
 ベランダの仕切り板・避難ハッチに、物を置いて避難経路をふさがない。

